

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火 3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーションⅡ English Communication II		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	Fb	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:西原俊明 /Eメールアドレス:t-nishi@nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部6階 /オフィスアワー:火曜日 14:30-15:30 それ以外は, by only appointment			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業内容(概要) 授業のねらい: 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。  授業方法: 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、 <sup>h</sup> アワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。  授業到達目標: 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。  第1回 オリエンテーション 第2回 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(1) 第3回 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(1) 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading) 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading) 第6回 弱く発音される音, 速読(phrase reading) 第7回 インフォメーションギャップによる <sup>h</sup> アワーク(1), 映画による聞き取り(1) 第8回 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2) 第9回 インフォメーションギャップによる <sup>h</sup> アワーク(2), 映画による聞き取り(3) 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4) 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによる <sup>h</sup> アワーク(3), 速読(phrase reading) 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(4), 速読(phrase reading) 第13回 なくなる音 第14回 Review 第15回 まとめのテスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキスト Macmillan Cinema English(予定)、及びプリント教材		
成績評価の方法・基準等	期末試験(50%)、小テスト(40%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			